



■ 教会標語 ■ 『主の御声に聞き従う』  
主の 2019 年 12 月 22 日  
第 102 号 クリスマス号

日本キリスト教団  
泉ヶ丘教会  
牧師 上田 真由美

〒590-0114 堺市南区榎塚台 1-1-5  
TEL/FAX 072-291-9532  
izumigaoka9532church@yahoo.co.jp

■ 礼拝・集会 ■

- ・ 主日礼拝 (日) 午前 10 時 30 分
- ・ 教会学校 (日) 午前 9 時
- ・ 聖書を学び祈る会 (木) 午前 10 時 30 分
- ・ キリスト教講座・家庭集会
- ・ マリヤ会・テモテ会、他

最初のクリスマスに、一番にキリストを  
拝みに来た人たちがいます。一つのグル  
ープは学者たち、もう一つのグループは  
羊飼いたちです。

東の方(現在のイラン)からはるば  
る旅をして来た学者たちは、様々な学  
問に秀でていましたが、最も得意とする  
のは天文学。しかも星を眺めることによ  
つて世界や人の運命を決めようとする  
ことが仕事でした。たとえば、迷っている  
人の運勢を予言し、災いが近いと思わ  
れればまじないをして災いを取り去つて  
あげていました。黄金、乳香、没薬は  
そういう知恵のしるし、大切な商売道

マタイ二・一〜十二、ルカ二・八〜二十

もろびとに知らせよ  
牧師 上田真由美

具です。

もう一方のベツレヘム郊外の荒野から  
やって来た羊飼いたちは、羊の世話とい  
うごく普通な仕事。そしてユダヤの社会  
では、彼らは完全にアウトサイダーでし  
た。仕事柄、宗教的な戒律を守つて生  
活することは不可能。清めの儀式を守  
ることができなかったため、人々は彼ら  
を汚れた者、神から遠い存在と見下し  
ていました。彼ら自身も、たとえ神はい  
たとしても、自分たちとは関係がないと  
思っていました。

そうすると、両方から、即ち一方か  
らは最も地位の高いグループが、もう一  
方からは最も地位の低いグループが、は  
るばる生まれたばかりの幼子イエスを拝  
むためにやって来たことになります。こ

の際立つた両者は、社会のありとあらゆる立場にある人を代表してやって来たと言つてよいでしょう。他の人はその間にいますから。そして実はここに、クリスマスの時に何を見なければならぬかが二つ示されています。一つは、遠いイランからでもやって来るくらいにひたすらキリストを望む。もう一つは、自分の立場を望む。

学者たちは、最高の知恵と教養を備えた賢くて社会的立場の高い人たちがでありながら、救い主の誕生を告げる星を見てはるばるやって来るくらいに救い主キリストを飼ひ葉桶の中に見出しました。このように幼子イエス・キリストを探し当てることができたのも、その星が先立つて進み、場所を示してくれたからでした。

王を訪ねてやって来る学者たちは外国人ですから、ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。」と聞いたのですが、本当の関心は、単に「ユダヤ人の王」ではなく、ユダヤ人の王が「全世界の王」であるということ。他の動かない星々とは違って、動く星が「全世界の王」誕生のしるしとな

つて夜空に現れたからこそ、わざわざ来たのでしよう。そうでなければ、外国の王が生まれたからといつてはるばるやって来る必要などありません。彼らは、動く星を、神の御業・導きと思つてやって来たのです。

一方、羊飼いたちは、社会からも神からも遠く離れて非常に惨めで、近づいて来られる聖なる神の御顔を喜んで仰ぐことなどできないような立場にありながら、もう恐れずに神に向かつて顔を上げてやって来るくらいにキリストを飼ひ葉桶の中に見出しました。彼らが自分たちは神とは無縁だと思つていたとしても、神様の方はそう思つておられなかった。羊飼いたちの生活の中に神様に入つて来られたのでした。このことによつて彼らは、神が共におられ、自分たちが神の御前にあることを知りました。正しい神を意識し始めると、彼らは心の汚れ、罪をも意識せざるを得なくなったのでしよう。恐れられたのです。

しかし、まさにその時、神様の方から「恐れるな」と。恐れなくてよい、と近づいて来て下さる。その時、断罪の神ではなく、救いの神を知った。それで隠れず

神に向かつて来ることができたのです。

そうであるならば、私たちもまた、社会に対する立場ではなくむしろ、神様に対する立場を知らなければなりません。私たちは、あらゆる立場にあつて、神様に対して不真実であり、心の汚れのある者であることを意識する、でも神の御顔を避けないで責めではなく救いの御業・導きに頼つてキリストを見出す者、拝む者であることを知らなければなりません。

東から西から北から南から、全世界の王として、救いの神としてお生まれになった方はどこにおられますかと言つて、キリストという一点に向かつて導かれています。ここにクリスマスの私たち人間の姿、クリスマスの喜びがあるのです。

これまで人生をかけてきた最も大切なもの(宝)を手放してでも何が一番大切なのか、心もとなく思う私たちです。しかし、ありとあらゆる立場にある人を導いて下さる王、本当の意味で全世界をよく支配して下さる王こそ、すべての人の人生に一番大切なのだとこの聖書箇所を示されていると思うのです。